



すびっこ  
美術館

みぎわ保育園

中野 白那太くん



縄跳び

お友達と縄跳びをしている様子を描いてくれたのは日那太くん(6歳)。みんなで練習するのが楽しいと話す日那太くんは、もうすぐ1年生。「小学校でお友達と遊ぶのが楽しみ! かわいいランドセルも買ったよ!」とうれしそうに話してくれました。

ぼくの夢  
わたしの夢



夢は…。 “プロサッカー選手”

白方小学校5年 ● 清水 葵生しづま 葵生

ぼくの夢は、プロサッカー選手になることです。その目標を達成するために、今はとにかく練習を一生懸命頑張っています。学校で、「心のプロジェクト夢先生」という授業がありました。そこで、元プロサッカー選手の井手口純さんが、自分の人生を振り返りながら、チャレンジすることの大切さを教えてくれました。一度挫折しても前に進もうという心、どんなことにもチャレンジする精神に心を打たれ、とても勉強になったし、プロサッカー選手になりたいという気持ちが強くなりました。

学校の図書室の本に「タイムマシン」が出ていました。時空間を移動する乗り物です。ぼくはときどきあれに乗って未来の自分を見てみたいと思うときがあります。今の自分の夢が果たされているのかとても気になります。でも、そんなことを考えるより、今の目標に向かってたくさん練習をして、プロサッカー選手になれるように頑張っていきたいです。

わが家の子育てノート

表紙・吉田裕子

わが家の一人息子、任まことは今2歳5か月になりました。食いしん坊でとても元気な男の子です。生まれた日のことは今でもはっきり覚えています。点滴を打つほど重いつわりや切迫流産での入院等、妊娠生活が大変だった私を氣遣ってか、出産当日、任は、入院してから2時間足らずであつという間に元気な産声を聞かせてくれました。任を胸に抱いたとき、うれしくて涙があふれました。

初めてのかわいいわが子の成長に、楽しみやうれしさがいっぱいでしたが、4か月から1歳半まで続いた夜泣きにはとても苦労しました。毎晩頻繁に起き、30分以上泣きやまないこともあったときには、途方に暮れました。今では夜泣きはほとんどありませんが、その時期は主人もいっつも以上に私を支えてくれて、不眠気味になってしまった私をしばらく一人で寝かせてくれていました。夜泣きでは苦労しましたが、覚悟していた2歳児のイヤイヤはそれほどひどくなく、素直に言うことを聞いてくれることも多いので助かっています。

最近、「お手伝い!」と言って、私の横で洗濯物を畳まねをしたり、

重い荷物を運ぼうとしたり、とても頼もしいです。

私たち夫婦は、双方の両親が県外なので頻繁には会えないのですが、いつも私たちのことを気に掛けてくれています。任も祖父母によく懐いていて、私がいなくても両家にお泊りができるほどです。

1歳を過ぎてからは「すくすくサポート」や保育園の一時保育もたびたび利用するようになりました。最初は心配しましたが、先生やお友達と楽しく過ごせているようで、お迎えの帰り道に、今日はこんなことをしたと楽しそうに教えてくれます。たくましく成長している息子の姿を見るのがうれしいです。離れている時間に息子のことを思うとき、私も母になったんだなとあらためて実感しています。

ママ友達や、長堀すこやかハウス・児童センターの先生方にも日々支えられ、初めての子育てを悩みながらも楽しんできました。これからもたくさんの方々の協力に感謝しながら、任の成長を見守っていきたいと思えます。

